

全国大学ビブリオバトル 2019

～首都決戦～

予選会実施報告書

全国大学ビブリオバトル予選事務局

目次

ビブリオバトル首都決戦レギュレーション	1
1 開催概要	2
1-1 本戦 開催概要	2
1-2 地区決戦 開催概要	2
1-3 地区予選 開催概要	4
1-4 地区予選・地区決戦 開催団体一覧.....	7
2 地区予選・地区決戦 開催報告	14
2-1 地区予選報告	15
2-2 地区決戦報告	25
3 本戦 開催報告	30
4 本戦 レポート	35
5 記録	43
5-1 ちらし・ポスター素材	43
5-2 メディア掲載（一部）	44
5-3 地区予選・地区決戦主催団体 広報ウェブサイト	46
5-4 動画ウェブサイト	46
ビブリオバトル普及委員会のご案内.....	47

ビブリオバトル首都決戦レギュレーション

1. 地区予選、地区決戦、本戦すべてのビブリオバトル開始前に、司会者がビブリオバトル公式ルールおよび首都決戦レギュレーション（2 以下）を読み上げ、ビブリオバトルの趣旨を参加者に周知すること。
2. 本やエピソードを紹介するための小道具の使用は認める。
3. レジュメの配布は禁止とする。
4. 読み上げレジュメの持ち込みは禁止とする。ただし、本へのメモ書きや付箋の添付などは認める。
5. パワーポイントやキーノートなどのプレゼンテーションツールの使用は禁止する。
6. 発表者は必ず 5 分を使い切る。
7. 発表後のディスカッションでは、発表内容の批判をするようなことはせず、発表内容で分からなかった点の追加説明や、「どの本を一番読みたくなったか？」の判断をするための材料について聞く。
8. 投票の基準は、どの本が読みたくなったかであり、知り合いや身内の応援という理由で投票を行わないこと。（参考：ビブリオバトルの大会における「組織票」への対応について）
<http://www.bibliobattle.jp/douyatte-kai-cuisuru/the-organized-vote/>
9. 投票権はすべての発表を聞いた人にのみ与えられる。
10. 司会者は 11 の場合を除き、投票には参加しない。
11. チャンプ本が複数となった場合は、決選投票を行う。その際、司会者 1 名の票を 1/2 票として加える。
12. 同一人物が異なる主催団体の地区予選に複数回参加することは認める。ただし、すでに他の地区予選でチャンプ本を獲得した者はのぞく。

* 地区予選主催団体においては、二度目以降の参加者を、「敗者復活枠」など別枠で取り扱う場合があります。この場合、参加者は地区予選主催団体の指示に従ってください。

ビブリオバトル公式ルール（公式サイトより引用）

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人 5 分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを 2 ～ 3 分行う。
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

1 開催概要

1-1 本戦 開催概要

名称：全国大学ビブリオバトル 2019～首都決戦～

日時：2019 年 12 月 22 日(日) 12:00～（開場 11:30）

場所：よみうり大手町ホール（東京・大手町 読売新聞東京本社内）

主催：活字文化推進会議

共催：ビブリオバトル普及委員会

主管：読売新聞社

公式ウェブサイト：<http://zenkoku19.bibliobattle.jp/>

公式ツイッターアカウント：[@bibliozenkoku](https://twitter.com/bibliozenkoku)

主催者ウェブサイト：<https://katsuji.yomiuri.co.jp/archives/category/college/>

1-2 地区決戦 開催概要

地区決戦は「全国大学ビブリオバトル 2019～首都決戦～」に進む出場者を定めるビブリオバトルのイベントである。地区決戦主催団体は「全国大学ビブリオバトル 2019〇〇地区決戦」のクレジットの下で、地区決戦を開催する。

主催：各地区決戦主催団体

後援：活字文化推進会議、ビブリオバトル普及委員会、他（後援、協賛等を各団体で獲得することは自由とする）

開催日時：原則 2019 年 10 月 15 日～11 月 30 日の期間で地区決戦主催団体の定める日

開催地区：地区決戦主催団体応募状況に応じ、地区割り年全国大学ビブリオバトル予選事務局が決定する

最大で 36 地区を上限とする

一つの地区の境界は都道府県境を一つの基準とするが、必ずしも他県からの参加を拒むものではなく、また、複数県で一つの地区をつくる場合もある

出場資格：各地で開催される地区予選を勝ち抜いた者、特別枠に選出された者

交通費補助：地区決戦出場者には、条件付きで交通費を補助する

<地区決戦主催団体の役割>

① 本選出場者の決定

「全国大学ビブリオバトル 2019～首都決戦～」地区決戦の運営を行い、地区代表を決定すること。予選事務局の示す地区決戦開催要項を十分尊重しながら、地区の状況を踏まえ、ビブリオバトルの普及に役立つ形での運営を心がける。地区決戦の開催については、ビブリオバトル公式ルール、ならびにビブリオバトル首都決戦レギュレーションを遵守して行うこと。

② 地区内の地区予選主催者との連携

全国大学ビブリオバトル予選事務局の窓口として、地区内で開催される地区予選主催者と連携し、出場者への通知などの対応を行う。また、地区内で開催された各地区予選情報を把握する。

③ 予選事務局との連携

地区内の状況を逐次、予選事務局に報告する。また、地区決戦終了後はすみやかに地区予選・地区決戦の報告を予選事務局に行う。

<地区決戦主催団体 募集期間>

2019 年（第 1 次締切）7 月 8 日(月)、（第 2 次締切）7 月 24 日(水)

<地区決戦 開催要項>

1. 地区決戦主催者は期間内（原則：10 月 15 日～11 月 30 日）に地区決戦を開催し、その結果について下記の内容をすみやかに予選事務局に報告する。
 - ①主催情報
メールアドレス，地区，主催団体名，ご担当者名
 - ②地区予選まとめ情報
地区予選開催回数合計，地区予選発表参加人数合計，地区予選発表参加者以外の参加者人数合計（観覧参加者合計）
＊二階層以上ワークショップ型を実施した場合は，その主催者名と発表参加者数
＊二階層以上イベント型を実施した場合は，その主催者名と各発表参加人数
 - ③地区決戦情報
地区決戦開催日，地区決戦開催場所，地区決戦開催回数，地区決戦発表参加人数，発表参加者を除く地区決戦参加人数
 - ④地区決戦チャンプ本獲得者情報
チャンプ本（書名，作者名，出版社名），氏名，所属大学名・学部・学年，メールアドレス，電話番号，得票数
 - ⑤得票数が次点，3 番手の発表参加者情報
紹介本，氏名，所属大学名，得票数
 - ⑥すべての参加学校名（地区決戦，地区予選）
2. 地区決戦進出者を決める地区予選が地区内で 3 回以上開催されること。開催規定は地区予選開催要項にしたがう。この開催は地区決戦と同日開催でも構わない。
3. 担当する地区での地区予選開催者と連絡をとりあい、地区決戦に支障のない運営に取り組むこと。地区決戦に関わる出場者への通知など、地区内で開催される地区予選開催者への対応も含まれる。また、地区決戦の開催情報を事前に予選事務局に報告すること。
4. 担当する地区で他の団体が地区予選を開催することを奨励し、地区決戦が盛り上がるように心がける。
5. 担当する地区のすべての地区予選のチャンプ本獲得者を地区決戦の参加者として受け入れること。地区決戦出場者が多数になった場合、地区決戦のなかで準決勝→決勝と分けることは可能とする。

6. 地区決戦出場者への交通費補助に関して、地区予選と地区決戦を同日・同会場で開催の場合については、別途予選事務局と協議とする。
7. 地区決戦主催団体が個別に協賛を取り、遠方からの参加者の補助を行うことは自由とする。
8. 地区決戦主催団体の中で必ず、1名はビブリオバトル普及委員会に入会のこと。
9. 地区決戦の様子は終了後、「全国大学ビブリオバトル2019～首都決戦～」本戦当日までの間にブログ又はウェブサイトなどを通して発信すること。また、それが「全国大学ビブリオバトル2019～首都決戦～」の地区決戦であることを明記すること。
10. 地区決戦主催団体が個別に協賛等をとることは自由とする。また、地区決戦は、活字文化推進会議、ビブリオバトル普及委員会が後援する。
主催：各地区決戦主催団体
後援：活字文化推進会議、ビブリオバトル普及委員会
11. 本大会の個人情報の取扱いの指針に同意し、協力すること。
12. 地区決戦はビブリオバトル公式ルール、および全国大学ビブリオバトルレギュレーションに則り開催すること。特に、ルールの補足についてもよく理解し、開催の際に必ずビブリオバトルの趣旨を観客も含めた参加者全員に周知すること。

＜地区決戦交通費補助＞

- ① 参加した地区予選会場から地区決戦会場までの鉄道区間の交通費が往復 3,000 円以上かかる出場者に限り、その半額（但し、自己負担上限額を 5,000 円とする）が予選事務局より補助される。
- ② 申請は、原則として地区予選開催団体応募時（申請書は地区予選終了後）に地区予選主催団体が行う。
- ③ 支給は、予選事務局より出場者の金融機関口座へ直接振り込む。

1-3 地区予選 開催概要

地区予選は、「全国大学ビブリオバトル2019〇〇地区決戦」に進む出場者を決めるビブリオバトルのイベントである。

主催：各地区予選主催団体・個人

開催日時：原則 2019 年 6 月～11 月（もしくは地区決戦主催団体の定める期限内）

出場資格：大学生・大学院生＊

＊大学生相当年齢の高専生、専門学校生を含む。

＊社会人大学生・大学院生、履修生等は年齢問わず参加資格があるものとする。

＊その年度の 9 月卒業生も含む。

＜地区予選主催団体の役割＞

①地区決戦出場者の決定

地区予選の運営を行い、各地区予選会場から地区決戦出場者を 1 名決定すること。予選事務局の示す地区予選開催要項を十分尊重しながら、ビブリオバトルの普及に役立つ形での運営を心がける。地区予選の開催については、ビブリオバトル公式ルール、ならびに全国大学ビブリオバトルレギュレーションを遵守して行うこと。

②該当地区の地区決戦主催者との連携

該当地区での地区決戦主催者と連携し、出場者への通知などの対応を行う。また、地区予選終了後はすみやかに地区予選の結果報告を地区決戦主催者および予選事務局に行う。

③地区決戦出場者の交通費補助申請

地区予選から選出した地区決戦出場者には条件付きで交通費補助があり、その申請は地区予選主催団体が予選事務局へ行う。

＜地区予選主催団体 募集期間＞

2019 年 6 月 3 日～11 月（もしくは地区決戦主催団体の定める期日まで）

＜地区予選 開催要項＞

1. 原則 6 月～11 月（もしくは地区決戦主催団体の定める期日まで）の期間に「全国大学ビブリオバトル 2019～首都決戦～」の予選会となるビブリオバトルを開催し、地区決戦に出場する学生を決定すること。
2. 地区予選は事前に告知を行い、外部からの参加希望者も参戦できるようにすること。
尚、開催要項 3 の B. 9 名以上の発表参加者による二階層以上での地区予選はクローズでの開催を認める。
9 人未満での講義内での開催などで、やむを得ずオープン開催ができない場合は事前にその旨を予選事務局に届け承認を得ること。
また、開催前に予選事務局および地区決戦主催団体まで開催日時・場所・告知ウェブサイトなどについて報告すること。
少なくとも 1 週間前までが望ましい。

オープン開催：外部からの参加希望者が参戦できる開催

クローズ開催：参加者を制限（学内の学生に限る、授業履修者に限るなど）し、
外部からの参加希望者が参戦できない開催

3. 開催するビブリオバトル地区予選は以下 A または B のような会とすること。（どちらかを選択可）
A. 原則として 4 名以上の発表参加者かつ観覧参加者と発表参加者の合計が 10 名以上と
なることが見込まれる地区予選
B. 原則として 9 名以上の発表参加者による、二階層以上の地区予選

なお、B の形式を採用する場合はクローズの開催を認める。

A、B ともに、発表参加者は大学生・大学院生（＊1）に限定する。

（＊1）

＊大学生相当年齢の高専生、専門学校生を含む。

- * 社会人大学生・大学院生、履修生等は年齢問わず参加資格があるものとする。
- * その年度の 9 月卒業生も含む。
- * すでに他の地区予選でチャンプ本を獲得した者以外であれば、別の地区予選に登録・参加も可能とする。

4. 原則 1 ゲーム、1 ファイナリストとする。1 つの地区予選開催者が複数の地区予選を開催した場合は、地区予選の数だけ地区決戦へチャンプ本獲得の学生を送り込むことができるが、必ず公平をきした運営を行い、地区予選の情報については、開催毎に地区決戦主催団体へ報告を行うこと。
5. 地区予選終了後、下記の内容をすみやかに地区決戦主催団体まで報告すること。
 - ⑦は該当する場合予選事務局へ提出すること。
 - ① 地区予選開催回数（二階層の地区予選を 1 度開催した場合は 2 回とカウントしてください）
 - ② 発表参加者数
 - ③ 発表参加者をのぞく参加者数（観覧参加者、およそで構いません）
 - ④ 参加学校名（すべて）
 - ⑤ ワークショップ型での二階層地区予選を開催した場合はワークショップ開催時のテーブル数、参加人数
 - ⑥ チャンプ本獲得者（地区決戦進出者）情報
 - ・氏名（フリガナ）
 - ・学校名、学部、学年
 - ・連絡先電話番号
 - ・連絡先メールアドレス（PC アドレス）
 - ・チャンプ本情報（書籍名、作者名）
 - ⑦ 交通費補助申請がある場合、地区決戦出場者の振込先金融機関情報を含めた交通費補助申請書の提出
6. 地区予選申込み後、本要項を満たす開催が困難であると予想される場合は、速やかに予選事務局、および地区決戦主催団体に連絡すること。
7. 地区予選の様子は終了後、「全国大学ビブリオバトル 2019～首都決戦～」本戦当日までの間にブログ又はウェブサイトなどを通して発信すること。詳細な形式は問わない。また、それが「全国大学ビブリオバトル 2019～首都決戦～」の地区予選であることを明記すること。
8. 本大会の個人情報の取扱いの指針に同意し、協力すること。
9. 地区予選は公式ルール、およびビブリオバトル首都決戦レギュレーションに則り開催すること。特に、**ルールの補足についてもよく理解し、開催の際に必ずビブリオバトルの趣旨を観客も含めた参加者全員に周知すること。**

1-4 地区予選・地区決戦 開催団体一覧

表 1-1. 地区予選・地区決戦 開催団体一覧

地区	団体名
北海道 A・B	地区決戦主催団体：ビブリオバトル北海道 (本戦出場枠 2)
北海道 A	ブックプロジェクト（北見工業大学図書館）
北海道 A	室蘭工業大学システムデザイン論研究室
北海道 A	北海学園大学 田中綾研究室
北海道 A	ビブリオバトル室蘭
北海道 A	北海学園大学ビブリオバトル
北海道 B	拓殖大学北海道短期大学 地域振興ビジネスコース
北海道 B	北海学園大学「人文学演習」1 部田中綾ゼミ
北海道 B	北海学園大学「人文学演習」2 部田中綾ゼミ
北海道 B	ビブリオバトル北海道
北海道 B	WBC2019 実行委員会
東北 A・B	地区決戦主催団体：海辺の図書館 (本戦出場枠 2)
東北 A・B	BIBLion
東北 A・B	東北学院大学中央図書館
東北 A・B	デーリー東北新聞社
東北 A・B	盛岡大学図書館
東北 A・B	東北文化学園大学総合情報センター図書館
東北 A・B	郡山女子大学図書館
東北 A・B	桜の聖母短期大学
関東 A	地区決戦主催団体：茨城県ビブリオバトル実行委員会 (本戦出場枠 1)
関東 A	茨城大学図書館
関東 A	茨城キリスト教大学
関東 A	茨城女子短期大学

関東 A	常磐大学学生支援センター
関東 A	筑波大学ビブリオバトル実行委員会
関東 B 地区決戦主催団体：大学生協リーダーズネットワーク (本戦出場枠 1)	
関東 B	大学生協リーダーズネットワーク
関東 B	聖学院大学人文学部日本文化学科「ライフデザイン・良く生きる A」
関東 B	城西大学水田記念図書館
関東 C 地区決戦主催団体：帝京大学メディアライブラリーセンター、紀伊國屋書店 (本戦出場枠 1)	
関東 C	関東学院大学 K.G.L.
関東 C	帝京大学メディアライブラリーセンター
関東 C	國學院大學弁論部
関東 C	城西大学水田記念図書館
関東 C	ツアービブリオ
関東 C	大東文化大学ビブリオバトル実行委員会
関東 D 地区決戦主催団体：株式会社紀伊國屋書店 (本戦出場枠 1)	
関東 D	文教大学越谷図書館・ほんだな係
関東 D	聖学院大学 図書館サポーター「セラエノ」(主催) 聖学院大学総合図書館 (協力)
関東 D	ヒューマンアカデミー秋葉原校
関東 D	帝京大学メディアライブラリーセンター
関東 D	千葉敬愛短期大学
関東 D	柏市内大学図書館連携事業
関東 D	千葉大学ビブリオバトル実行委員会
関東 D	城西大学水田記念図書館
中部 地区決戦主催団体：都留文科大学 図書館サークル Libropass (本戦出場枠 1)	
中部	図書館サークル Libropass
中部	ビブリオバトル信州

東海 A 地区決戦主催団体：私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会 (ビブリオバトル名古屋) (本戦出場枠 1)	
東海 A	中部学院大学附属図書館
東海 A	椋山女学園大学図書館
東海 A	愛知大学 名古屋図書館
東海 A	名古屋学院大学学術情報センター
東海 B 地区決戦主催団体：皇學館大学ビブリオバトルサークル「ビブロフィリア」 (本戦出場枠 1)	
東海 B	皇學館大学 岡野ゼミ
東海 B	皇學館大学ビブリオバトルサークル「ビブロフィリア」
東海 B	皇學館大学附属図書館 ふみくら倶楽部
東海 C 地区決戦主催団体：ビブリオバトルしぞーか (本戦出場枠 1)	
東海 C	静岡理工科大学 L A
東海 C	ビブリオバトルしぞーか
北陸 地区決戦主催団体：金沢大学 (本戦出場枠 1)	
北陸	金沢大学附属図書館
関西 A 地区決戦主催団体：甲南大学図書館 (本戦出場枠 1)	
関西 A	岡本ビブリオバトル
関西 A	大阪経済大学図書館
関西 A	神戸学院大学 有瀬図書館
関西 A	海に見える図書館
関西 A	神戸大学附属図書館学生チーム ULiCS
関西 A	甲南大学 FIRST プレゼン演習 1A 組
関西 A	甲南大学 FIRST プレゼン演習 1B 組
関西 A	甲南大学「文章表現論」チーム

関西 B 地区決戦主催団体：阪大ビブリオバトル		(本戦出場枠 1)
関西 B	阪大ビブリオバトル	
関西 B	茨木ビブリオバトル	
関西 C 地区決戦主催団体：生駒ビブリオ倶楽部、生駒市図書館		(本戦出場枠 1)
関西 C	生駒ビブリオ倶楽部、生駒市図書館	
関西 C	四天王寺大学図書館	
関西 C	ブレノリ（プレゼンのノリで楽しむ「ビブリオ」）	
関西 C	村瀬ゼミ三回	
関西 C	帝塚山大学文学部フミヨミプロジェクト	
関西 C	奈良大学司書課程	
関西 D 地区決戦主催団体：くさつビブリオバトル 2019 実行委員会		(本戦出場枠 1)
関西 D	立命館生協	
関西 D	杉村プレゼンツ 読書愛好会	
関西 E 地区決戦主催団体： 大阪工業大学知的財産学部、大阪工業大学ビブリオバトル・サークル		(本戦出場枠 1)
関西 E	大阪経済大学図書館	
関西 E	大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス図書館	
関西 E	大阪工業大学知的財産学部	
関西 E	大阪工業大学ビブリオバトルサークル	
関西 F 地区決戦主催団体：龍谷大学図書館ライブラリーサポーター		(本戦出場枠 1)
関西 F	京都精華大学	
関西 F	大阪工業大学図書館枚方分館 ライブラリーサポーター	
関西 F	ひがしやま文庫	
関西 F	京都女子大学図書館学研究会（クイックルズ）	
関西 F	杉村プレゼンツ 読書愛好会	
関西 F	龍谷大学深草図書館	

関西 G 地区決戦主催団体：大阪成蹊大学・短期大学図書館		(本戦出場枠 1)
関西 G	摂南大学図書館学生サポーター	
関西 G	南津プレゼンツ！読書愛好会	
関西 G	大阪成蹊大学・短期大学図書館	
中国 A 地区決戦主催団体：梅光学院大学		(本戦出場枠 1)
中国 A	梅光学院大学子ども学部「子どもと心」演習クラス	
中国 A	梅光学院大学子ども学部演習クラス「子どもと心」	
中国 A	梅光学院大学図書館及び子ども学部	
中国 B 地区決戦主催団体： 島根県立大学・島根県立大学短期大学部松江キャンパス学生図書委員		(本戦出場枠 1)
中国 B	島根県立大学・島根県立大学短期大学部松江キャンパス学生図書委員	
中国 B	島根県立大学・島根県立大学短期大学部松江キャンパス図書館	
中国 B	島根大学図書館コンシェルジュ	
中国 C 地区決戦主催団体：尾道市立大学小川研究室・啓文社連合		(本戦出場枠 1)
中国 C	福山市立大学附属図書館	
中国 C	尾道市立大学小川研究室・啓文社連合	
中国 D 地区決戦主催団体：広島県立図書館，広島県大学図書館協議会，広島県立図書館友の会		(本戦出場枠 1)
中国 D	広島市立大学附属図書館	
中国 D	福山大学附属図書館	
中国 D	広島工業大学附属図書館	
中国 D	広島大学中央図書館	
中国 D	広島文教大学	
中国 D	県立広島大学学術情報センター図書館	
中国 D	広島商船高等専門学校図書館	
中国 D	広島経済大学図書館	

中国 E 地区決戦主催団体：鳥取県大学図書館等協議会 (本戦出場枠 1)	
中国 E	鳥取大学学生図書館ワーキンググループ
中国 E	公立鳥取環境大学 本楽部
中国 E	鳥取看護大学・鳥取短期大学附属図書館
四国 A 地区決戦主催団体：ビブリオバトル愛媛地区決戦実行委員会 (本戦出場枠 1)	
四国 A	松山大学「児童サービスでビバ！」
四国 A	愛媛大学「メディアを知ろう in 愛大」
四国 A	松山大学図書館
四国 A	愛媛県立医療技術大学
四国 B 地区決戦主催団体：阿波ビブリオバトルサポーター (本戦出場枠 1)	
四国 B	阿波ビブリオバトルサポーター
四国 B	ビブリオラボ・とくしま
四国 B	ライブラリーワークショップ
四国 C 地区決戦主催団体：高知ビブリオバトル (本線出場枠 1)	
四国 C	高知ビブリオバトル
九州 A 地区決戦主催団体：九州女子大学 共催：九州北部地区決戦実行委員会 (本戦出場枠 1)	
九州 A	日本赤十字九州国際看護大学 図書館運営委員会
九州 A	北九州市立大学図書館
九州 A	九州国際大学図書館
九州 A	九州女子大学 家政学部 人間生活学科
九州 A	福岡女子短期大学
九州 A	西南学院大学法学部山田憲一ゼミ
九州 B 地区決戦主催団体：佐伯 de ビブリオバトル (本戦出場枠 1)	
九州 B	浮田ゼミ
九州 B	佐伯 de ビブリオバトル
九州 B	九州大学経済学部北澤ゼミ

九州 C 地区決戦主催団体：鹿児島大学図書館サポーター		(本戦出場枠 1)
九州 C	鹿児島大学図書館サポーター	
九州 C	宮崎大学附属図書館	
九州 C	宮崎大学附属図書館学生サポーター	
九州 C	宮崎学園図書館（宮崎国際大学・宮崎学園短期大学）	
九州 C	個人開催	
九州 D 地区決戦主催団体：ビブリオバトル長崎		(本戦出場枠 1)
九州 D	長崎ウエスレヤン大学附属図書館	
九州 D	長崎ウエスレヤン大学ぶっく倶楽部	
九州 D	佐藤ゼミ	
九州 D	菅原ゼミ	
九州 D	吉野ゼミ	
九州 D	長崎国際大学図書館	

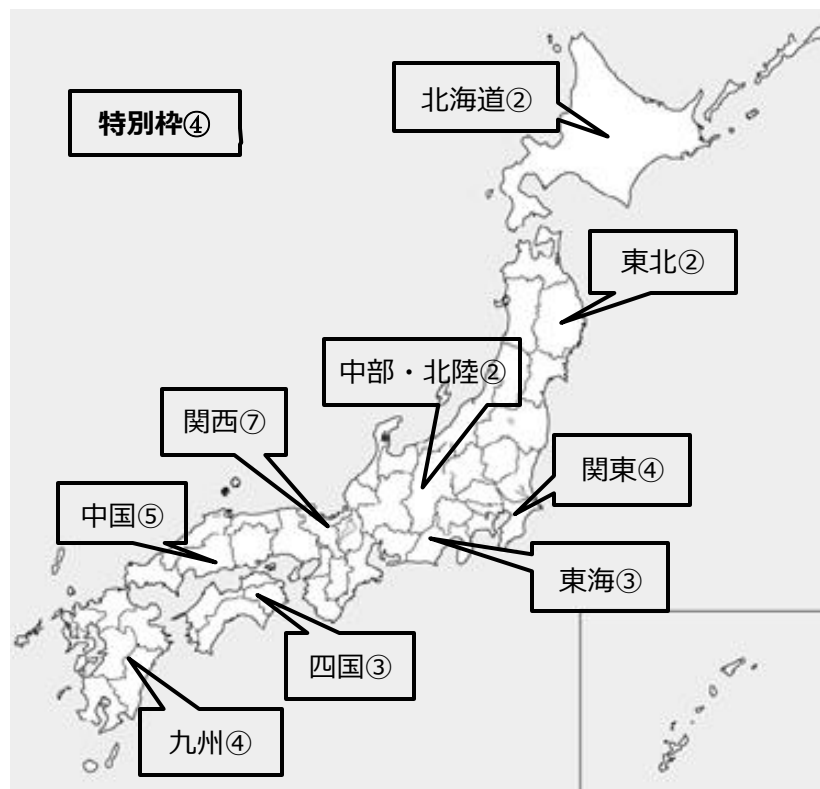


図 1-1. 各地区の本戦参加枠数配分

2 地区予選・地区決戦 開催報告

2019 年は前年度と同様の本戦主催体制で、地区予選・地区決戦主催団体の募集を 6 月にスタートし、本戦の 12 月に向けてほぼ半年間をかけての地区予選・地区決戦開催となった。また、昨年度に続き「特別枠制度*1」を実施し、本戦発表は 36 名参加となった。

過去の情報を含めた地区予選・地区決戦および本戦の各参加数を表 2-1 に示す。

表 2-1. 地区予選・地区決戦および本戦 参加数

年度	予選会* ¹ 開催数	予選会 発表 参加者数	予選会 観客数 (およそ)	予選会 参加学校数	本戦 発表 参加者数	本戦 観客数* ³ (およそ)
2019 年	293 回	1,526 名	約 5,450 名	128 校	36 名	400 名
2018 年	223 回	1,598 名	約 4,597 名	115 校	36 名	800 名
2017 年	209 回	1,090 名	約 5,044 名	127 校	36 名	350 名
2016 年	228 回	1,207 名	約 5,600 名	125 校	29 名	500 名
2015 年	181 回	914 名	約 4,500 名	98 校	30 名	450 名
2014 年	180 回	874 名	約 4,400 名	130 校	30 名	450 名
2013 年	177 回	804 名	約 4,000 名	124 校	30 名	3,300 名
2012 年	132 回	524 名	約 2,400 名	92 校	32 名	3,000 名
2011 年	32 回	182 名	約 950 名	32 拠点* ²	34 名	1,600 名
2010 年	15 回	53 名	—	28 校	20 名	450 名

*¹ 予選会は、地区予選・地区決戦の合計です。

*² 2011 年の参加学校数は 36 大学以上。

*³ 本戦観客数は 2013 年度までは延べ人数、2014 年度以降は入場者数。

(* 1) 特別枠 (敗者復活枠・追加配分枠) について

特別枠 (敗者復活枠・追加配分枠) は、原則、以下の場合に本戦への出場枠を追加する。

- ・敗者復活枠 . . . 本戦出場枠数に対する発表参加者数が他の地区に比べて多く、各発表参加者に不公平が生じると判断された地区へ新たに枠を与える。
原則、次点発表参加者が特別枠候補となる。
- ・追加配布枠 . . . 一つの地区決戦主催団体が多くの地区予選を開催し、一地区として独立させることが妥当とされる場合や、地域全体の状況や全国状況から新たに枠を与えるに値すると判断された場合。

2-1 地区予選報告

各地区別の地区予選開催状況を表 2-2 に示す。ウェブサイト上で公開された各地の地区予選・地区決戦の開催の様子についてまとめた報告書は、公式ウェブサイトの記録ページにて公開している。(http://zenkoku.bibliobattle.jp/records2019/)

表 2-2. 地区予選開催状況

ブロック	団体名	開催日	開催場所	開催回数	発表者数(名)	観客数(名)
北海道 A	ブック・プロジェクト (北見工業大学図書館)	10/9	北見工業大学図書館	5	27	95
北海道 A	室蘭工業大学システムデザイン論研究室	10/30	室蘭工業大学			
北海道 A	北海学園大学 田中綾研究室	10/29	北海学園大学 1 号館 3 階 A301 教室			
北海道 A	ビブリオバトル室蘭	10/30	室蘭工業大学			
北海道 A	北海学園大学ビブリオバトル	10/12	豊平キャンパス図書館 4 階 アクティブ・エリア			
北海道 A ブロック 計				5	27	95
北海道 B	拓殖大学北海道短期大学 地域振興ビジネスコース	11/14	拓殖大学北海道短期大学	5	22	101
北海道 B	北海学園大学「人文学演習」 1 部田中綾ゼミ	10/18	北海学園大学 1 号館 2 階 A203 教室			
北海道 B	北海学園大学「人文学演習」 2 部田中綾ゼミ	10/18	北海学園大学 1 号館 2 階 A203 教室			
北海道 B	ビブリオバトル北海道	10/30	室蘭工業大学			
北海道 B	WBC2019 実行委員会	10/30	室蘭工業大学			
北海道 B ブロック 計				5	22	101
東北 A・B	BIBLion	10/20	宮城教育大学	6		
東北 A・B	東北学院大学中央図書館	10/26	東北学院大学 ホーイ記念館 1F ラーニング・コモンズ「コラトリエ・リエゾン」			
東北 A・B	デーリー東北新聞社	9/29	デーリー東北新聞社			
東北 A・B	盛岡大学図書館	11/9	盛岡大学図書館 多目的学習室			
東北 A・B	東北文化学園大学総合情報センター図書館	10/16	東北文化学園大学教育支援センター			
東北 A・B	郡山女子大学図書館	11/5	郡山女子大学ラーニングコモンズⅡ			
東北 A・B	桜の聖母短期大学	10/10 10/17	桜の聖母短期大学			

東北 A・Bブロック 計				7	98	337
関東 A	茨城大学図書館	10/19	茨城大学図書館本館 1F ラーニングcommons			
関東 A	茨城キリスト教大学	10/17	茨城キリスト教大学図書館 2F ラーニングcommonsエ リア			
関東 A	茨城女子短期大学	10/26	茨城女子短期大学学園祭 「撫子祭」特設会場			
関東 A	常磐大学学生支援センター	10/8	常磐大学 H 棟大講義室			
関東 A	筑波大学ビブリオバトル実行 委員会	10/9	筑波大学附属図書館情報学 図書館春日ラーニングコモ ンズ			
関東 Aブロック 計				5	21	90
関東 B	大学生協リーダーズネットワ ーク	11/17	大学生協杉並会館 地下会議室			
関東 B	聖学院大学人文学部日本文化 学科「ライフデザイン・良く 生きる A」	7/10 7/17 7/24 7/31	聖学院大学			
関東 B	城西大学水田記念図書館	10/2	城西大学水田記念図書館			
関東 Bブロック 計				8	108	25
関東 C	関東学院大学 K.G.L.	11/2	関東学院大学図書館 本館			
関東 C	帝京大学メディアライブラリ ーセンター	10/27	帝京大学メディアライブラ リーセンターBF メディアラウンジ			
関東 C	國學院大學弁論部	11/6	國學院大學渋谷キャンパス 5号館 5201 教室			
関東 C	城西大学水田記念図書館	10/2	城西大学水田記念図書館			
関東 C	ツアービブリオ	10/20	東京都現代美術館			
関東 C	大東文化大学ビブリオバトル 実行委員会	10/19	大東文化大学板橋キャンパ ス 1号館 101 教室			
関東 Cブロック 計				9	32	237
関東 D	文教大学越谷図書館・ほんだ な係	11/3	文教大学越谷キャンパス 12号館 1階 12101 教室			
関東 D	聖学院大学 図書館サポータ ー「セラエノ」(主催) 聖学院大学総合図書館(協力)	10/5	OKEGAWA hon プラス+ イベントスペース			
関東 D	ヒューマンアカデミー秋葉原 校	8/21	ヒューマンアカデミー秋葉 原校			
関東 D	帝京大学メディアライブラリ ーセンター	10/2	帝京大学メディアライブラ リーセンターBF メディアラウンジ			

関東 D	千葉敬愛短期大学	9/18 10/27	千葉敬愛短期大学メディアセンター	
関東 D	柏市内大学図書館連携事業	11/3	ウェルネス柏 4 階研修室	
関東 D	千葉大学ビブリオバトル実行委員会	10/8	千葉大学西千葉キャンパス 総合校舎 1 号館 3 階 328 教室	
関東 D	千葉大学ビブリオバトル実行委員会	11/5	千葉大学附属図書館 (西千葉キャンパス)	
関東 D	城西大学水田記念図書館	10/2	城西大学水田記念図書館	
関東 D ブロック 計				16 84 447
中部	図書館サークル Libropass	10/8	公立大学法人都留文科大学 1216 教室	
中部	ビブリオバトル信州	11/3	信州大学松本キャンパス	
中部	ビブリオバトル信州	11/7	信州大学工学部キャンパス 内図書館	
中部ブロック 計				3 9 33
東海 A	中部学院大学附属図書館	10/19	中部学院大学 関キャンパス L.E.A.P.Plaza 関	
東海 A	椋山女学園大学図書館	8/10	椋山女学園大学 中央図書館 1 階 i サークル内	
東海 A	愛知大学 名古屋図書館	10/10	愛知大学 名古屋図書館 ディスカッションルーム	
東海 A	名古屋学院大学学術情報センター	10/29	名古屋学院大学 名古屋キャンパスしろとり 学術情報センター 3 階	
東海 A	名古屋学院大学学術情報センター	10/28	名古屋学院大学 瀬戸キャンパス図書館 2 階	
東海 A ブロック 計				5 25 65
東海 B	皇學館大学 岡野ゼミ	11/7	皇學館大学 5 号館 535 教室	
東海 B	皇學館大学ビブリオバトルサークル「ビブロフィリア」	11/7	皇學館大学附属図書館 2 階 ラーニングコモンズ	
東海 B	皇學館大学附属図書館ふみくら倶楽部	11/18	皇學館大学附属図書館 2 階 ラーニングコモンズ	
東海 B ブロック 計				3 16 47
東海 C	静岡理工科大学 L A	10/27	静岡理工科大学附属図書館	
東海 C	ビブリオバトルしぞーか	11/2	常葉大学附属図書館 (浜松)	
東海 C	ビブリオバトルしぞーか	11/7	常葉大学附属図書館 (草薙)	
東海 C ブロック 計				4 16 24

北陸	金沢大学附属図書館	7/24	金沢大学中央図書館 ほんとかふえ。			
北陸		10/16				
北陸		11/20				
北陸ブロック 計				3	11	74
関西 A	岡本ビブリオバトル	9/21	コーヒー&カフェ ヒーハ ー			
関西 A	大阪経済大学図書館	11/8	大阪経済大学 D 館 2 階 HUB Cafe			
関西 A	神戸学院大学 有瀬図書館	11/12	神戸学院大学有瀬図書館オ アシスゾーン			
関西 A	海に見える図書館	10/26	神戸学院大学ポートアイラ ンドキャンパス図書館 2 階オアシスゾーン			
関西 A	神戸大学附属図書館学生チー ム ULiCS	10/28	神戸大学 鶴甲第 1 キャン パス LC			
関西 A	甲南大学 FIRST プレゼン演 習 1A 組	10/30	甲南大学ポートアイランド キャンパス 210 講義室			
関西 A	甲南大学 FIRST プレゼン演 習 1B 組	11/6	甲南大学ポートアイランド キャンパス 210 講義室			
関西 A	甲南大学「文章表現論」チー ム	11/6	甲南大学 5 号館 524 教室			
関西 A ブロック 計				9	60	155
関西 B	阪大ビブリオバトル	11/3	大阪大学			
関西 B	茨木ビブリオバトル	10/26	茨木市立男女共生センター ローズ WAM			
関西 B ブロック 計				3	13	31
関西 C	生駒ビブリオ倶楽部、生駒市 図書館	10/20	生駒市図書館			
関西 C	四天王寺大学図書館	10/10 10/17 10/24 10/31 11/2	四天王寺大学			
関西 C	プレノリ（プレゼンのノリで 楽しむ「ビブリオ」）	10/3	大阪電気通信大学駅前キャン パス 1 階 101 教室			
関西 C	村瀬ゼミ三回生	11/7	サンロックカフェ			
関西 C	帝塚山大学文学部フミヨミプ ロジェクト	11/1	帝塚山大学東生駒キャンパ ス 1 号館 1205			
関西 C	奈良大学司書課程	6/28	奈良大学			
関西 C ブロック 計				10	43	190

関西 D	立命館生協	10/17	立命館大学 OIC キャンパス生協			
関西 D	立命館生協	11/5	立命館大学 衣笠キャンパス生協			
関西 D	立命館生協	11/8	立命館大学 BKC キャンパス生協			
関西 D	杉村プレゼンツ 読書愛好会	11/1	大阪電気通信大学 寝屋川 キャンパス 図書館			
関西 Dブロック 計				4	16	28
関西 E	大阪経済大学図書館	6/28	大阪経済大学 HUB カフェ			
関西 E	大阪電気通信大学 寝屋川キ ャンパス図書館	10/10	大阪電気通信大学 寝屋川 キャンパス図書館			
関西 E	大阪工業大学知的財産学部	10/10	大阪工業大学 大宮キャンパス 図書館 ラーニングコモンズ プレゼンテーションブース			
関西 E		10/10				
関西 E		10/17				
関西 E		10/17				
関西 E	大阪工業大学知的財産学部	10/10	大阪工業大学 大宮キャンパス 1 号館 8 階 情報演習室 1			
関西 E		10/10				
関西 E		10/17				
関西 E		10/17				
関西 E	大阪工業大学ビブリオバトル サークル	10/27	大阪工業大学 大宮キャンパス 図書館 ラーニングコモンズ プレゼンテーションブース			
関西 Eブロック 計				11	57	208
関西 F	京都精華大学	10/24	京都精華大学 流溪館 101 教室			
関西 F	大阪工業大学図書館枚方分館 ライブラリーサポーター	10/25	大阪工業大学 枚方キャンパス 4 階 ラーニングコモンズ			
関西 F	ひがしやま文庫	10/31	京都市東山青少年活動セン ターミーティングルーム C			
関西 F	京都女子大学図書館学研究會 (クイックルズ)	11/2	京都女子大学 模擬法廷			
関西 F	杉村プレゼンツ 読書愛好会	11/1	大阪電気通信大学 寝屋川 キャンパス J 号館内			
関西 F	龍谷大学深草図書館	11/7	龍谷大学深草学舎 和顔館 B105 講義室			
関西 Fブロック 計				6	23	59

関西 G	摂南大学図書館学生サポーター	11/7	摂南大学図書館寢屋川本館 1 階ラーニング・コモンズ			
関西 G	南津プレゼンツ！読書愛好会	11/19	大阪電気通信大学 寢屋川 キャンパス J 号館 6 階 小ホール			
関西 G	大阪成蹊大学・短期大学図書 館	5/29	大阪成蹊大学、大阪成蹊短 期大学			
関西 G		6/12				
関西 G		6/19				
関西 G		10/7				
関西 G		10/8				
関西 G		11/11				
関西 G	11/14					
関西 G ブロック 計				65	290	396
中国 A	梅光学院大学子ども学部「子 どもと心」演習クラス	6/25	創業支援カフェ KARASTA.			
中国 A	梅光学院大学子ども学部演習 クラス「子どもと心」	7/7	シーモール 4F サンパティオ広場			
中国 A	梅光学院大学図書館及び子ど も学部	8/9	梅光学院大学 CROSSLIGHT レストラン Pane di Vita			
中国 A	梅光学院大学子ども学部演習 クラス「子どもと心」	10/10	創業支援カフェ KARASTA.			
中国 A ブロック 計				4	20	57
中国 B	島根県立大学・島根県立大学 短期大学部松江キャンパス学 生図書委員	6/8	島根県立大学・島根県立大 学短期大学部松江キャン パス図書館			
中国 B	島根県立大学・島根県立大学 短期大学部松江キャンパス図 書館	7/11				
中国 B	島根大学図書館コンシェルジュ	10/20				
中国 B ブロック 計				3	13	50
中国 C	福山市立大学附属図書館	10/31	福山市立大学 3 階多目的ホール			
中国 C	尾道市立大学小川研究室・啓 文社連合	10/25	尾道市立大学 303 講義室			
中国 C		10/28				
中国 C		11/11				
中国 C		11/18				

中国 C	尾道市立大学小川研究室・啓文社連合	11/22	尾道市立大学 402 講義室			
中国 C	尾道市立大学小川研究室・啓文社連合	11/29	尾道市立大学 303 講義室			
中国 C ブロック 計				7	31	142
中国 D	広島市立大学附属図書館	10/26	広島市立大学附属図書館内			
中国 D	福山大学附属図書館	10/9	福山大学 15 号館 2 階 附属図書館			
中国 D	広島工業大学附属図書館	10/15	広島工業大学附属図書館 3 階視聴覚ライブラリー			
中国 D	広島大学中央図書館	9/24	広島大学中央図書館 1 階 BIBLA グループスペース			
中国 D	広島文教大学	10/11	広島文教大学			
中国 D	県立広島大学学術情報センター図書館	10/19	サテライトキャンパスひろしま 5 階 504 中講義室			
中国 D	広島商船高等専門学校図書館	10/7	広島商船高等専門学校図書館			
中国 D	広島経済大学図書館	10/21	広島経済大学図書館エントランスホール			
中国 D ブロック 計				8	39	212
中国 E	鳥取大学学生図書館ワーキンググループ	10/13	鳥取大学附属図書館			
中国 E	公立鳥取環境大学 本楽部	10/20	公立鳥取環境大学 12 講義室			
中国 E	鳥取看護大学・鳥取短期大学付属図書館	10/20	鳥取看護大学・鳥取短期大学付属図書館 本館			
中国 E ブロック 計				3	13	39
四国 A	松山大学「児童サービスでもビバ！」	5/23	松山大学			
四国 A	愛媛大学「メディアを知ろう in 愛大」	6/5	愛媛大学			
四国 A	松山大学図書館	6/19	松山大学図書館読書指導室			
四国 A	愛媛県立医療技術大学	7/9	愛媛県立医療技術大学 116・117 講義室			
四国 A	松山大学図書館	10/23	松山大学図書館読書指導室			
四国 A ブロック 計				7	28	195

四国 B	阿波ビブリオバトルサポーター	10/4	徳島大学附属図書館 1 階 ラーニングコモンズ			
四国 B	ビブリオラボ・とくしま	11/16	徳島大学常三島キャンパス 附属図書館			
四国 B	ライブラリーワークショップ	11/2	徳島大学教養教育 4 号館 203			
四国 B ブロック 計				3	12	35
四国 C	高知ビブリオバトル	10/30	高知大学朝倉キャンパス メディアの森			
四国 C		11/15	高知情報ビジネス&フード 専門学校			
四国 C		11/18	高知工業高等専門学校 図 書館南閲覧室			
四国 C ブロック 計				3	12	35
九州 A	日本赤十字九州国際看護大学 図書館運営委員会	6/5	日本赤十字九州国際看護大 学 実習棟 2F ラーニング コモンズ			
九州 A		10/23				
九州 A	北九州市立大学図書館	6/29	北九州市立大学図書館本館 1F ラーニングシアター			
九州 A	九州国際大学図書館	7/16	九州国際大学 2 号館			
九州 A	九州女子大学 家政学部 人間生活学科	10/19	九州女子大学			
九州 A	福岡女子短期大学	11/3	福岡女子短期大学			
九州 A	北九州市立大学図書館	11/16	北九州市立大学図書館 本館 1F ラーニングシアター			
九州 A	西南学院大学法学部 山田憲一ゼミ	10/29	西南学院大学 1 号館			
九州 A ブロック 計				13	85	488
九州 B	浮田ゼミ	9/21	福岡女学院大学			
九州 B	佐伯 de ビブリオバトル	11/4	大分県立図書館 研修室			
九州 B	九州大学経済学部北澤ゼミ	10/16	九州大学イーストゾーン 2 号館 204 セミナールーム			
九州 B ブロック 計				5	63	33

九州 C	鹿児島大学図書館サポーター	10/16	鹿児島大学附属図書館			
九州 C		10/26				
九州 C		11/6				
九州 C	宮崎大学附属図書館	10/29	宮崎大学地域デザイン棟			
九州 C	宮崎大学附属図書館学生サポーター	11/8	宮崎大学 地域デザイン棟			
九州 C	宮崎学園図書館（宮崎国際大学・宮崎学園短期大学）	10/3	宮崎国際大学 1-524 教室			
九州 C		10/10				
		10/17 10/24				
九州 C	個人開催	11/23	鹿児島市立図書館			
九州 C ブロック 計					7	35
九州 D	長崎ウエスレヤン大学附属図書館	5/20	長崎ウエスレヤン大学附属図書館			
九州 D	長崎ウエスレヤン大学ぶつく倶楽部	6/17	長崎ウエスレヤン大学附属図書館			
九州 D	佐藤ゼミ	7/11	長崎ウエスレヤン大学 佐藤研究室			
九州 D	菅原ゼミ	10/7	長崎ウエスレヤン大学 菅原研究室			
九州 D	吉野ゼミ	10/27	諫早市立諫早図書館			
九州 D	長崎国際大学図書館	10/1	長崎国際大学図書館 ラーニングcommons			
九州 D		10/11				
九州 D ブロック 計				7	27	114
全ブロック 計				251	1,349	4,142

表 2-3. 地区予選発表参加者 所属校一覧

北見工業大学	開智国際大学	下関市立大学
室蘭工業大学	二松学舎大学	島根県立大学・島根県立大学短期大学
北海学園大学	麗澤大学	島根大学
拓殖大学北海道短期大学	法政大学	尾道市立大学
宮城教育大学	千葉大学	福山市立大学
盛岡大学・盛岡大学短期大学部	都留文科大学	広島大学
郡山女子大学	信州大学	広島商船高等専門学校
八戸学院大学	愛知大学	福山大学
岩手大学	椋山女学園大学	広島文教大学
桜の聖母短期大学	中部学院大学	広島工業大学
東北学院大学	名古屋学院大学(瀬戸・名古屋)	県立広島大学
東北文化学園大学	皇學館大学	広島経済大学
常磐大学	常葉大学	広島市立大学
筑波大学	静岡理工科大学	公立鳥取環境大学
茨城キリスト教大学	金沢大学	鳥取短期大学
茨城大学	富山大学	鳥取看護大学
茨城女子短期大学	花園大学	鳥取大学
お茶の水女子大学	甲南女子大学	愛媛大学
聖学院大学	大阪経済大学	松山大学
横浜国立大学	神戸学院大学	愛媛県立医療技術大学
横浜市立大学	神戸大学	徳島大学
群馬大学	和歌山大学	高知大学
高崎経済大学	びわこ学院大学	高知工業高等専門学校
埼玉大学	甲南大学	高知情報ビジネス&フード専門学校
桜美林大学	大阪大学	龍馬看護ふくし専門学校
首都大学東京	大阪電気通信大学	北九州市立大学
城西大学	関西外国語大学	九州国際大学
早稲田大学	追手門学院大学	九州女子大学
相模女子大学	奈良大学	西南学院大学
東京外国語大学	奈良県立大学	日本赤十字九州国際看護大学
東京学芸大学	近畿大学	福岡女子短期大学
東京経済大学	四天王寺大学	日本文理大学
東京大学	帝塚山大学	福岡女学院大学
放送大学	大阪市立大学	九州大学
関東学院大学	立命館大学	別府大学
専修大学	大阪工業大学	立命館アジア太平洋大学
大東文化大学	大阪芸術大学	八洲学園大学
帝京大学	京都精華大学	鹿児島大学
文教大学	京都女子大学	宮崎大学
埼玉県立大学	龍谷大学	宮崎国際大学
日本女子大学	摂南大学	長崎国際大学
ヒューマンアカデミー 秋葉原校	大阪成蹊大学 大阪成蹊短期大学	長崎ウエスレヤン大学
千葉敬愛短期大学	梅光学院大学	

合計 128 校

2-2 地区決戦報告

表 2-4. 地区決戦開催状況

ブロック	主催団体名	開催日	開催場所	発表者数 (名)	観客数 (名)
北海道 A	ビブリオバトル北海道	11/17	三浦綾子記念文学館	5	42
北海道 B	ビブリオバトル北海道	11/17	三浦綾子記念文学館	5	42
東北 A・B	海辺の図書館	11/16	せんだい 3.11 メモリアル 交流館	7	25
関東 A	茨城県ビブリオバトル 実行委員会	11/3	茨城県立図書館視聴覚 ホール	5	122
関東 B	大学生協リーダーズネ ットワーク	11/17	大学生協 杉並会館	6	25
関東 C	帝京大学メディアライ ブラリーセンター、紀伊 國屋書店	11/12	パシフィコ横浜 (第 21 回図書館総合展)	6	65
関東 D	株式会社紀伊國屋書店	11/10	紀伊國屋書店新宿本店	9	34
中部	都留文科大学図書館サ ークル Libropass	11/9	都留文科大学 1303 教室	3	8
東海 A	私立大学図書館協会西 地区部会東海地区協議 会(ビブリオバトル名古 屋)	11/24	名古屋学院大学名古屋キャン パスたいほう	5	93
東海 B	皇學館大学ビブリオバ トルサークル「ビブロフ ィリア」	11/28	皇學館大学附属図書館 2 階 ラーニングコモンズ	3	21
東海 C	ビブリオバトルしぞー か	11/16	常葉大学静岡草薙キャンパ ス	4	6
北陸	金沢大学附属図書館	11/22	金沢大学附属図書館中央図 書館	3	13
関西 A	甲南大学図書館	11/16	甲南大学 岡本キャンパス iCommons	8	54
関西 B	阪大ビブリオバトル	11/3	大阪大学豊中キャンパス	3	17
関西 C	生駒市図書館、生駒ビブ リオ倶楽部	11/24	生駒市図書館	6	36
関西 D	くさつビブリオバトル 2019 実行委員会	11/17	アーバンデザインセンター びわこ・くさつ (UDCBK)	4	20
関西 E	大阪工業大学知的財産 学部、大阪工業大学ビブ リオバトルサークル	10/27	大阪工業大学 大宮キャン パス 図書館 4 階 ラーニングコモンズ	8	37
関西 F	龍谷大学図書館ライブ ラリーサポーター	11/9	龍谷大学深草キャンパス 和顔館	6	17

関西 G	大阪成蹊大学・短期大学 図書館	11/30	大阪成蹊大学 グローバル 館	17	225
中国 A	梅光学院大学	10/26	梅光学院大学	4	23
中国 B	島根県立大学・島根県立 大学短期大学部松江キャン パス学生図書委員	10/20	島根県立大学・島根県立大 学短期大学部松江キャン パス図書館（ラーニングコモ ンズ 2・3）	3	20
中国 C	尾道市立大学・啓文社連 合	12/1	尾道市立中央図書館	7	51
中国 D	広島県立図書館, 広島県 大学図書館協議会, 広島 県立図書館友の会	11/3	広島県情報プラザ	8	64
中国 E	鳥取県大学図書館等協 議会	11/9	鳥取大学附属図書館	3	24
四国 A	愛媛地区決戦実行委員 会	11/2	学校法人河原学園広域通信 制高等学校普通科 未来高 等学校	5	13
四国 B	阿波ビブリオバトル サポーター	11/24	徳島市立図書館	3	19
四国 C	高知ビブリオバトル	12/1	金高堂書店本店	3	21
九州 A	九州女子大学	11/23	九州女子大学	11	55
九州 B	佐伯 de ビブリオバトル	11/4	大分県立図書館 視聴覚ホール	3	41
九州 C	鹿児島大学図書館サポ ーター	11/24	鹿児島大学中央図書館	7	20
九州 D	ビブリオバトル長崎	10/27	諫早市立諫早図書館	7	55
合 計				177	1,308

表 2-5. 地区決戦結果一覧

ブロック	チャンプ本獲得者	大学名	地区決戦チャンプ本
北海道 A	横川 舜介	室蘭工業大学 工学部 3 年	『改訂版 金持ち父さん 貧乏父 さん:アメリカの金持ちが教えて くれるお金の哲学』 ロバート・キヨサキ 著
北海道 B	小島 祐輝	室蘭工業大学 工学部 4 年	『お嬢さまことば速修講座 改訂 版』 加藤 忍み子 著
東北 A	梅木 颯人	盛岡大学 文学部 3 年	『「のび太」という生きかた』 横山 泰行 著
東北 B	横山 瑞季	郡山女子大学短期大学部 文化専攻科 1 年	『不道德教育講座』 三島 由紀夫 著
関東 A	森本 拓朗	茨城大学 工学部情報工学科 1 年	『クマムシ博士の「最強生物」学 講座』 堀川 大樹 著
関東 B	中山 息吹	群馬大学 理工学部 1 年	『天国からはじまる物語』 ゼヴィン, ガブリエル 作
関東 C	山崎 龍星	帝京大学 文学部日本文学科 1 年	『シオドアとものいうきのこ : えらくなりすぎたねずみのはなし』 レオ=レオニ 作
関東 D	小島 佑奈	帝京大学 文学部社会学科 3 年	『彼女が好きなものはホモであ って僕ではない』 浅原 ナオト 著
中部	一之瀬 拓巳	信州大学 工学部 4 年	『夢中になる! 江戸の数学』 桜井 進 著
東海 A	高見 壮多郎	名古屋学院大学 スポーツ健康学部 3 年	『おぞましい二人』 エドワード・ゴーリー著
東海 B	河野 亜美	皇學館大学 文学部国文学科 3 年	『かわいい症候群』 増淵 宗一 著
東海 C	片岡 由奈	静岡理工科大学 理工学部 4 年	『酒から教わった大切なこと』 東 理夫 著
北陸	山田 晃平	富山大学 人文学部 3 年	『Another』 綾辻 行人 著
関西 A	木村 佑輝	大阪経済大学 経済学部 4 年	『暗いところで待ち合わせ』 乙一 著

関西 B *1	今坂 朋彦	大阪大学 文学部 3 年	『生命式』 村田 沙耶香 著
関西 C	真城 有佑	近畿大学 薬学部 3 年	『前世への冒険-ルネサンスの天才彫刻家を追って』 森下 典子 著
関西 D	井口 皓介	立命館大学 政策科学部政策科学科 1 年	『前へ!—東日本大震災と戦った無名戦士たちの記録』 麻生 幾 著
関西 E	谷口 亮平	大阪工業大学 知的財産学部 2 年	『デブの帝国—いかにしてアメリカは肥満大国となったのか』 グレッグ・クライツァー 著
関西 F	藤田 和典	大阪工業大学大学院 情報科学研究科 2 年	『もじ鉄 : 書体で読み解く日本全国全鉄道の駅名標』 石川 祐基 著
関西 G	大川 拓也	大阪工業大学 知的財産学部 2 年	『遺体と火葬のほんとうの話』 佐藤 信顕 著
中国 A	山崎 舞奈	下関市立大学 経済学部商学科 3 年	『プラチナタウン』 榆 修平 著
中国 B	立石 彩夏	島根大学 法文学部言語文化学科 3 年	『阪急電車』 有川 浩 著
中国 C	服部 圭	尾道市立大学 芸術文化学部 日本文学科 3 年	『少年の名はジルベール』 竹宮 恵子 著
中国 D	末吉 祐貴	広島経済大学 経済学部 3 年	『毎年、記憶を失う彼女の救いかた』 望月 拓海 著
中国 E	三根 祐太郎	鳥取大学 地域学部 3 年	『六枚のとんかつ』 蘇部 健一 著
四国 A	大成 美保	松山大学 経済学部経済学科 3 年	『これは経費で落ちません!』 青木 祐子 著
四国 B	多田 里穂	徳島大学 医学部 3 年	『特別料理』 スタンレイ・エリン 著
四国 C	森本 里佳	龍馬看護ふくし専門学校 福祉保育学科 1 年	『私は私のままで生きることにした』 キム スヒョン 著
九州 A	徳田 智彦	北九州市立大学 文学部比較文化学科 2 年	『時をかけるゆとり』 朝井 リョウ 著
九州 B	近藤 祥真	日本文理大学 経営経済学部 2 年	『後悔しない超選択術』 メンタリスト Dai Go 著

九州 C	富永 孝江	宮崎大学 教育学研究科 M1	『立体で見る星の本』 杉浦 康平/北村 正利 著
九州 D	田中 大空	長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 社会福祉学科 1年	『キリン』 山田 悠介 著

*1 地区決戦チャンプ本獲得者の出場辞退により、次点学生が本戦出場

表 2-6. 特別枠一覧

ブロック	特別枠選出者	大学名	地区決戦紹介本
関東 B	瀧 孝輔	埼玉大学 教養学部 2年	『自分の体で実験したい命がけ の科学者列伝』 デンディ, レスリー/ ボーリング, メル 著
関東 D	重松 朝妃	東京外国語大学 国際社会学部 4年	『ビビを見た!』 大海 赫 著
中国 D	島本 靖子	県立広島大学 人間文化学部 3年	『線は、僕を描く』 砥上 裕将 著
九州 A	博多屋 桃香	日本赤十字九州国際看護 大学 看護学部 1年	『狐笛のかなた』 上橋 菜穂子 著

3 本戦 開催報告

<本戦 開催概要>

日時：2019 年 12 月 22 日（日）12:00～17:00

場所：よみうり大手町ホール（東京・大手町 読売新聞東京本社内）

主催：活字文化推進会議

共催：ビブリオバトル普及委員会

主管：読売新聞社

発表参加者：36 名

<プログラム>

12:00	開会式
12:30～14:30	準決勝
14:45～15:15	トークセッション トークセッションゲスト 鈴木 勝吾さん（俳優） 清水 潔さん（ジャーナリスト） 高井 昌史さん（紀伊國屋書店会長兼社長）
15:30～16:30	決勝
16:30～17:00	閉会式（結果発表・表彰式・記念撮影）

<準決勝>

表 3-1. 準決勝出場者・紹介本一覧（結果）

準決勝①：小ホール手前

地区ブロック	紹介本	バトラー	所属
北海道 A	『改訂版 金持ち父さん 貧乏父さん:アメリカの金持ちが教えてくれるお金の哲学』 ロバート・キヨサキ 著	横川 舜介	室蘭工業大学 工学部 3 年
関東 C ★チャンプ本	『めを とじて みえるのは』 マック・バーネット/ イザベル・アルスノー 著	山崎 龍星	帝京大学 文学部 1 年
東海 C	『酒から教わった大切なこと』 東 理夫 著	片岡 由奈	静岡理工科大学 理工学部 4 年
関西 C	『さらざんまい』 幾原 邦彦 / 内海 照子 著	真城 有佑	近畿大学 薬学部 3 年
中国 A	『プラチナタウン』 榆 修平 著	山崎 舞奈	下関市立大学 経済学部 3 年
四国 B	『エレベーター』 レナルズ, ジェイソン 著	多田 里穂	徳島大学 医学部 3 年

準決勝②：小ホール手前

地区ブロック	紹介本	バトラー	所属
東北 A	『「のび太」という生きかた』 横山 泰行 著	梅木 颯人	盛岡大学 文学部 3 年
関東 B ★チャンプ本	『天国からはじまる物語』 ゼヴィン, ガブリエル 作	中山 息吹	群馬大学 理工学部 1 年
関西 E	『デブの帝国—いかにしてアメリカは肥満大国となったのか』 グレッグ・クライツァー 著	谷口 亮平	大阪工業大学 知的財産学部 2 年
中国 B	『ルリユール』 村山 早紀 著	立石 彩夏	島根大学 法文学部 3 年
九州 A	『時をかけるゆとり』 朝井 リョウ 著	徳田 智彦	北九州市立大学 文学部 2 年
特別枠 中国 D	『線は、僕を描く』 砥上 裕将 著	島本 靖子	県立広島大学 人間文化学部 3 年

準決勝③：小ホール奥

地区ブロック	紹介本	バトラー	所属
関東 D	『彼女が好きなものはホモであって僕ではない』 浅原 ナオト 著	小島 佑奈	帝京大学 文学部 3 年
東海 A	『おぞましい二人』 エドワード・ゴーリー著	高見 壮多郎	名古屋学院大学 スポーツ健康学部 3 年
関西 A	『湘南人肉医』 大石 圭 著	木村 佑輝	大阪経済大学 経済学部 4 年
中国 C ★チャンプ本	『少年の名はジルベール』 竹宮 恵子 著	服部 圭	尾道市立大学 芸術文化学部 3 年
九州 B	『春に生まれたような』 矢城 道子 著	近藤 祥真	日本文理大学 経営経済学部 2 年
特別枠 関東 B	『自分の体で実験したい命がけの科学者列伝』 デンディ, レスリー／ ボーリング, メル 著	瀧 孝輔	埼玉大学 教養学部

準決勝④：小ホール奥

地区ブロック	紹介本	バトラー	所属
東北 B	『不道德教育講座』 三島 由紀夫 著	横山 瑞季	郡山女子大学短期大学部 文化専攻科 1 年
北陸 ★チャンプ本	『むかしむかしあるところに、 死体がありました』 青柳 碧人 著	山田 晃平	富山大学 人文学部 3 年
関西 F	『もじ鉄：書体で読み解く日 本全国全鉄道の駅名標』 石川 祐基 著	藤田 和典	大阪工業大学大学院 情報科学研究科 2 年
中国 D	『毎年、記憶を失う彼女の救い かた』 望月 拓海 著	末吉 祐貴	広島経済大学 経済学部 3 年
四国 C	『私は私のままで生きること にした』 キム スヒョン 著	森本 里佳	龍馬看護ふくし専門学校 福祉保育学科 1 年
九州 C	『立体で見る星の本』 杉浦 康平/北村 正利 著	富永 孝江	宮崎大学大学院 教育学研究科 M1

準決勝⑤：新聞教室

地区ブロック	紹介本	バトラー	所属
関東 A	『クマムシ博士の「最強生物」学講座』 堀川 大樹 著	森本 拓朗	茨城大学 工学部 1 年
東海 B	『かわいい症候群』 増淵 宗一 著	河野 亜美	皇學館大学 文学部 3 年
関西 B *1 ★チャンプ本	『春宵十話』 岡 潔 著	北野 翔大	大阪大学 経済学部 3 年
中国 E	『六枚のとんかつ』 蘇部 健一 著	三根 祐太朗	鳥取大学 地域学部 3 年
北海道 B	『お嬢さまことば速修講座 改訂版』 加藤 忍み子 著	小島 祐輝	室蘭工業大学 工学部 4 年
特別枠 九州 A	『狐笛のかなた』 上橋 菜穂子 著	博多屋 桃香	日本赤十字九州国際看護大学 看護学部 1 年

準決勝⑥：新聞教室

地区ブロック	紹介本	バトラー	所属
九州 D	『キリン』 山田 悠介 著	田中 大空	長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 1 年
中部	『夢中になる！江戸の数学』 桜井 進 著	一之瀬 拓巳	信州大学 工学部 4 年
関西 D	『前へ！一東日本大震災と戦った無名戦士たちの記録』 麻生 幾 著	井口 皓介	立命館大学 政策科学部 1 年
関西 G	『遺体と火葬のほんとうの話』 佐藤 信顕 著	大川 拓也	大阪工業大学 知的財産学部 2 年
四国 A	『これは経費で落ちません！』 青木 祐子 著	大成 美保	松山大学 経済学部 3 年
特別枠 関東 D ★チャンプ本	『ビビを見た！』 大海 赫 著	重松 朝妃	東京外国語大学 国際社会学部 4 年

*1 地区決戦チャンプ本獲得者の出場辞退により、次点学生が出場

<決勝>

表 3-2. 決勝進出者・紹介本一覧（結果）

地区ブロック	紹介本	バトラー	所属
関西 B ☆ゲスト特別賞	『春宵十話』 岡 潔 著	北野 翔大	大阪大学 経済学部 3 年
関東 C	『めを とじて みえるのは』 マック・バーネット/ イザベル・アルスノー 著	山崎 龍星	帝京大学 文学部 1 年
中国 C ☆準グランドチャンプ本	『少年の名はジルベール』 竹宮 恵子 著	服部 圭	尾道市立大学 芸術文化学部 3 年
関東 B ☆グランドチャンプ本	『天国からはじまる物語』 ゼヴィン, ガブリエル 作	中山 息吹	群馬大学 理工学部 1 年
北陸	『むかしむかしあるところに、 死体がありました』 青柳 碧人 著	山田 晃平	富山大学 人文学部 3 年
特別枠 関東 D	『ビビを見た！』 大海 赫 著	重松 朝妃	東京外国語大学 国際社会学部 4 年

4 第 10 回ビブリオバトル首都決戦本戦レポート

2019 年 12 月 22 日、ビブリオバトル首都決戦の記念すべき第 10 回大会（活字文化推進会議主催、ビブリオバトル普及委員会共催、読売新聞社主管）が東京都千代田区のみどり公園ホールで開かれました。全国 36 ブロックの予選でチャンプ本を獲得した計 36 人の大学院生や大学生、短大生が他の人にお薦めしたい本を持ち寄って集結。最も読みたいと思わせた「グランドチャンプ本」の獲得を目指して書評合戦を繰り広げました。



◇予選に約 1350 人

午前 11 時半の開場前からホール周辺には本を片手に緊張した面持ちの学生たちの姿が。開会式は正午から始まり、これまでの首都決戦の様子を紹介する動画の上映からスタートして期待感が高まります。

総司会を務めたのはお笑い芸人のカモシダせぶんさんとアナウンサーの金本美紀さん。カモシダさんは「松竹お笑いビブリオバトル」などで活躍し、現役書店員としての顔も持つ読書好き芸人です。今回の首都決戦でもカモシダさんが会場を盛り上げ、金本さんが的確な進行を行っていました。

主催の活字文化推進会議の池辺英俊事務局長は開会あいさつで、「第 1 回大会の参加者は予選を含め 28 大学約 80 人でした。10 回目の今回は計 128 校約 1350 人の参加。10 年前と比べると急速にかつ広く普及したことを示す数字だと思います」と紹介。「心に響く本、言葉との出会いは人生の財産と言っても差し支えないと思います。本日のイベントが皆さまと感動的な本、言葉との出会いの場になれば主催者としてこれに勝る喜びはありません」と語りました。

共催のビブリオバトル普及委員会の岡野裕行代表は「自分の思いを本に乗せ、皆さんの思いを会場の皆さんに届けていただければ」と参加者に呼び掛けました。

◇レベルが高かった準決勝

カモシダさんによるルール説明の後、バトラーや観客は 3 会場に別れ準決勝へ。各会場で前半と後半の 2 部で計 6 の準決勝が行われ、それぞれレベルの高いプレゼンが相次ぎました。決勝には惜しくも進めなかったバトラーから特に筆者の印象に残った 3 人をピックアップします。

【準決勝①】

関西 C ブロック選抜で近畿大の真城有佑さんは『さらざんまい』（幾原邦彦、内海照子他著）をプレゼン。両腕を大きく前に広げた特徴的なポーズを作りながら『『すしざんまい』ではないので、お間違えないようにしてください』『『さらざんまい』だけに『さらっと』あらすじを紹介したい』と軽妙なトークで観客に語りかけます。続く質疑応答の時間には、販売員の経験があるという女性から「セールストークが本当にうまい」と絶賛されていました。



【準決勝④】

関西 F ブロックを勝ち上がった大阪工業大学大学院の藤田和典さんは『もじ鉄：書体で読み解く日本全国全鉄道の駅名標』（石川祐基著）を紹介。書体への思い入れが熱烈に伝わるプレゼンで、写真やタオルなどの小道具を多数使いながら身近な書体とその魅力を分かりやすく解説していました。「活字を通して文字の魅力、違いをお伝えしたい」。その思いがしっかりと観客に伝わっていたように感じます。



【準決勝⑤】

中国 E ブロックから参加した鳥取大学の三根祐太郎さん。『六枚のとんかつ』（蘇部健一著）を手に「今からの 5 分間は私にとっての復讐の時間です」「罵倒され続けてきた私とこの本の復讐の時間とさせていただきます」と低い声色で仰々しく語り始め、何が起きるんだろうと聴衆の関心をわしづかみに。その後は一転、にこやかな表情で「インターネットとかでこの本の口コミを調べたら『クソバカ小説』と書かれていました。私も残念ながらそれに同意します。ただし、ただのクソでバカな小説ではなく、史上最高の愛すべきクソでバカな小説です」と紹介本への愛と思い入れを語り始めます。緩急の付いたプレゼンが巧みでした。



準決勝が終わって決勝が始まるまでの間、ホール前に開設された紹介本の即売コーナーには多くの人が集まっていました。

準決勝を観戦した人に感想を聞いてみました。家族と一緒に訪れた東京都内の小学 5 年の女子生徒は「中学生や高校生よりもしゃべり方が上手だった」と感心した様子。都内から 1 人で参加した出版社に勤める 50 代男性は「プレゼンが皆、本当に上手。本の内容もだが、話の面白さで引き込まれる。ジャンル違いの読まない本が紹介されるのがビブリオバトルの良いところだなと思います」と語っていました。

◇著名人によるトークセッション

決勝の前にはゲストの著名人によるトークセッションが行われ、俳優の鈴木勝吾さん、ジャーナリストの清水潔さん、紀伊國屋書店の高井昌史会長が登壇。総合司会のカモシダさんも加わり、金本さんが進行役を務めました。

鈴木さんは 18 年 11 月に開かれた「ビブリオバトル☆スター決戦」に出場。清水さんの著作『殺人犯はそこにいる―隠蔽された北関東連続幼女誘拐殺人事件―』でチャンプ本を獲得しました。

鈴木さんは「めちゃくちゃ緊張した。本 1 冊を 5 分で魅力を伝えるというのはすごい難しかった」と振り返っていました。鈴木さんのプレゼンの様子を動画で見たという清水さんは「著者も説明をなかなかこんな上手にできない。動画を見て僕も思わず読みたくなったくらい」と絶賛していました。

カモシダさんは劇場で月 1 回開催されているという芸人ビブリオバトルを紹介。「芸人は自分のパーソナルな部分が読書に出る」と話し、哲学芸人がプラトンを紹介したり、プロレス好きな芸人が新日本プロレスの本を紹介したりと選書に個性が出ると説明していました。高井会長は「読書は自分が読みたい物を読んでいくのが一番いい。若い方にはぜひ文芸の本を読んでもらいたい。本の楽しさを味わってほしいと思う」と語りました。

◇いよいよ決勝

決勝トップバッターは帝京大の山崎龍星さん（関東 C ブロック）でした。紹介したのは『めをとじてみえるのは』（絵：イザベル・アルスノー 文：マック・バーネット）という絵本。女の子とその父親の夜眠る前のやりとりが描かれ、女の子の疑問に父親が詩的でユーモアのある答えをすることが魅力とアピールしました。山崎さんが終盤で語った「絵本には幼いころの優しい気持ちを思い出させてくれる魅力が詰まっている。大きくなったからと敬遠せずに絵本を読んでほしい」との言葉は心に響きました。

質疑応答では山崎さんのファッションに注目し、「服が白で、頭髮も白髪。絵本と関係があるのか？」との質問が。山崎さんが紹介本のイメージに合わせて服を選び、髪も染め直したと明かすと会場は驚きでどよめきました。



2 人目のバトラーは東京外国語大の重松朝妃さん（特別枠関東 D ブロック）。「私にはトラウマがあります。今まで 10 年以上抱えてきたトラウマ体験があります。さて、そのトラウマとは？」という問い掛けから始まりました。紹介本は絵本『ビビを見た！』（大海赫著）。初めて読んだのは小学 2 年生で、当時は夜怖くて眠れなかったそうです。大学生になって読んでも衝撃的に感じたとのことで、質疑応答では「最後は不思議な感動があるファンタジーですけどトラウマ本です」と語りました。



3 人目のバトラーは群馬大の中山息吹さん（関東 B ブロック）。「ピンマイクでプレゼンすることが夢だった」と語る中山さんはテンション高くスタートし、「人って死んだらどうなるんですかね？」と問いかけます。紹介本は小説『天国からはじまる物語』（ガブリエル・ゼヴィン著）。本の一節を引用しながらあらすじを紹介していき、「人生の壁にぶつかった時にそっと背中を押してくれる一冊」とアピールしました。



4 人目のバトラーは尾道市立大の服部圭さん（中国Cブロック）。カモシダさんによるバトラー紹介では、事前アンケートで他の人が 2～4 行で回答する中、22 行にわたってマイブームの文学研究について書き綴っていたとのエピソードが明かされました。同じく相当の熱量でプレゼンを始めた紹介本は少女漫画家竹宮恵子による自伝『少年の名はジルベール』（竹宮恵子著）。いわゆる「ボーイズラブ（BL）」の要素を盛り込んだ少女漫画の金字塔『風と木の詩』の誕生秘話を豊富な背景知識を交えながら熱弁し、「本に触れる方、本を愛する方には全員読んでいただきたい。涙なしには読めません」と訴えかけていました。



5 人目のバトラーは富山大の山田晃平さん（北陸ブロック）。紹介本は桃太郎や浦島太郎といった昔話を題材としたミステリー短編集『むかしむかしあるところに、死体がありました。』（青柳碧人著）でした。一寸法師や鶴の恩返しなどモチーフになった昔話がどのような意外な展開を見せるのか、各短編導入部分のあらすじを紹介。『『本来はミステリーを読まないよ』という人もすごく楽しんで読めると思う』『子や孫に教えてみると面白いかもしれない』とアピールしていました。



6 人目のバトラーは大阪大の北野翔大さん(関西 B ブロック)。予選で 2 位だったものの、1 位のバトラーの都合がつかなかったことから繰り上がりで本戦に出場し、決勝まで勝ち上がりました。「永遠の悩みを与えてくれる本」として随筆集『春宵十話』(岡潔著)を紹介。「情熱」が本のメインテーマと紹介し、人間関係で悩んでいた時にヒントを求めて手に取ったと本との出会いを説明していました。「今もし人間関係で何かあったらこの本を読んでください。読んだら何か見えます。たぶん腹立ちます。情緒何かわからへん結局。何の話してんねん」となります。でも、すごく価値のある本やと思います。ぜひ皆さん一緒に永遠の悩みを手に入れてみませんか？是非読んでもらって悩んでください」と発表を締めくくりました。



◇グランドチャンプ本は『天国からはじまる物語』

6 人の発表が終わり、いよいよバトラーと観客を合わせた参加者による投票が行われます。投票は名前を呼ばれた各紹介本に対し、参加者が「もっとも読みたい」と感じた本にうちわを挙げて投票するという形式でした。



集計の結果、群馬大の中山さん紹介の『天国からはじまる物語』がグランドチャンプ本に選ばれました。中山さんは授賞式で、18年のビブリオバトル高校生大会で同じ本を紹介して群馬県から全国大会行きが決まったものの、センター試験と日程が重なって大会に参加できなかった無念のエピソードを紹介。「今回出場し、ここまで来れて夢が叶いました」と喜びを語りました。



準グランドチャンプ本とゲスト特別賞には、尾道市立大の服部圭さん紹介の『少年の名はジルベール』、大阪大の北野翔大さん紹介の『春宵十話』がそれぞれ選ばれました。ゲストの清水潔さんは「うちわを誰に上げたらいいんだろうと思うくらいみんな接戦だったと思います。誰が受賞されてもおかしくなかった」と講評しました。

◇懇親会でもビブリオ談議盛況

首都決戦終了後には、バトラーとスタッフらによる懇親会が開かれました。参加者はほぼ全員が初対面という状況の中、本のお話をきっかけにそれぞれが打ち解けた様子で、大変盛り上がりしました。

◇感想

記録係として準決勝 3 会場を行ったり来たりしましたが、今回も全体的にとってもレベルが高かった印象です。決勝だけが動画で残って、準決勝の様子が残っていないのが惜しくて仕方ありません。ビブリオバトルの面白さはライブ感にあるとはいえ、「もう一度見たい」と思わせるものばかりでした。

ビブリオバトルにはそれぞれのバトラーの個性が出ます。今大会でも本そのものだけでなく、バトラーそれぞれの人柄に興味湧き、「普段まったく読まないジャンルだが、この人が薦める本を読んでみたい」と感じさせられることが多々ありました。

懇親会では各バトラーがほぼ初対面ながら好きな本の話をつきかけに和気あいあいと語りあっていました。各準決勝が終わった後、観客として参加した人々が隣の席に座った人同士で「すごかったですね」などと感想を言い合っていたのもよく覚えています。ビブリオバトルでは「人を通して本を知る。本を通して人を知る」という格言がありますが、ビブリオバトルを通じて本が人と人との新たなつながりを作り出していると感じました。

首都決戦も開催 10 回目を数えました。学生時代に第 1 回大会で予選運営などに関わった人間としては感慨深いものがあります。当時と比べてとても大きな規模になりました。それでも個人的には大会形式よりもこじんまりと 4、5 人くらいでテーブルを囲んで参加者全員でわいわい本を紹介し合うビブリオバトルが好きです。

首都決戦をつきかけにビブリオバトルに初めて触れたという人も多いでしょう。是非ともこじんまりとしたビブリオバトルをそれぞれの身近な場所で気の合う仲間や初めましての人とやってみてほしいと思います。大会形式とは違った魅力を感じるはずです。

それぞれが各地でこじんまりとしたビブリオバトルを開催すれば、もっとたくさんの本、もっとたくさんの人との出会いがあります。そうすれば、裾野がより広がって首都決戦も今後さらに面白い大会になるでしょう。

最後になりましたが、バトラーとして出場した皆さん、観客として会場を訪れた皆さん、運営に関わった皆さん、大変お疲れさまでした。今後もビブリオバトルを楽しんで参りましょう！（ビブリオバトル普及委員会 横山晃嗣）

5-1 ちらし・ポスター素材

43

5-2 メディア掲載（一部）



2019年 11月 6日 茨城新聞



2019年 11月 30日 盛岡タイムス



2019年 11月 14日 盛岡タイムス



2020年 1月 3日 上毛新聞

5-3 地区予選・地区決戦主催団体 広報ウェブサイト

地区予選・地区決戦主催団体の広報ウェブサイト、チラシ等は全国大学ビブリオバトル2019 公式ウェブサイト記録ページ (<http://zenkoku.bibliobattle.jp/records2019/>) にて公開している。

5-4 動画ウェブサイト

全国大学ビブリオバトル首都決戦、本戦決勝ステージの模様を公開している。
(<https://www.youtube.com/watch?v=agsT7A40Q60>)

ビブリオバトル普及委員会のご案内

ビブリオバトル普及委員会は、知的書評合戦ビブリオバトルをより広く普及させる事を目的として活動する任意団体です。主催や参加、見学、取材のご相談などは、お気軽に下記までご一報ください。

連絡先

メールアドレス : info@bibliobattle.jp

公式ウェブサイト : <http://www.bibliobattle.jp/>

役員

(理事・代表)	岡野 裕行 (皇學館大学文学部 准教授)
(理事・副代表)	飯島 玲生 (名古屋大学)
(理事)	佐々木 奈三江 (徳島大学附属図書館)
(理事)	小林 秀高 (拓殖大学北海道短期大学農学ビジネス学科 准教授)
(理事)	益井 博史 (ビブリオバトル普及委員会 普及委員)
(理事)	佐藤 慧 (ビブリオバトル普及委員会 普及委員)
(理事)	榎村 真由 (ビブリオバトル普及委員会 普及委員)
(監査役)	大川 真司 (大川公認会計士・税理士事務所)

地区代表

地区名	地区代表者、副代表者名
北海道	須藤 秀紹 (副) 小林 秀高
東北	貝森 義仁 (副) 戸澤 香奈
関東	瀬部 貴行 (副) 市川 紀子
北陸	藤野 秀則 (副) 本吉 達郎、(副) 鎌田 康裕
中部内陸	荒戸 寛樹
東海	岡野 裕行 (副) 飯島 玲生、(副) 坂本 牧葉
関西・中国	益井 博史 (副) 中津 壮人
四国	西村 浩子 (副) 佐々木 奈三江
九州	赤峰 稔朗 (副) 林 鉄郎、(副) 佐藤 慧

会員 453 名 (2020 年 1 月 22 日現在)

新規会員の募集について

ビブリオバトル普及委員会は、ビブリオバトルの普及を通して、世の中でのコミュニケーションや知識共有、人々のつながりを活性化させることを目的としボランティアで活動しています。入会を希望される方は、入会申請フォームをご確認の上、お申込みください。

入会申請フォーム : <http://www.bibliobattle.jp/nyuukai-fomu/>